岩手日報　2013年（平成25年）3月23日（土曜日）

がれき推計量算定
委託金返還求める
団体が県に監査請求

住民有志でつくる「子供達の放射線被ばく低減化を推進する盛岡の会」（中山一絵世話人）は22日、県の委託を受けて民間企業が実施した本県災害がれきの発生推計量に不明点があるとして、県への委託契約金の返還や実態に基づく広域処理量の算定を求める住民監査請求を県監査委員に行った。

中山世話人らが県庁で記者会見し、請求理由を説明。県監査委員事務局に住民監査請求書を提出した。

請求理由として、契約時の予定量と比べて実際の量が10分の1しかなかった野田村から埼玉県への木くずの広域処理などを例に「正確に測定されれば埼玉県などでの広域処理は必要なかった」と指摘。

中山世話人は「大幅に間違った故の税金の無駄遣いは見過ごせない。支払いをやめるか、返還を求めるべきだ」と強調した。